

オリーブの会通信

مجموعة الزيتون

2021年11月10日第12号 (通巻18号)
 オリーブの会
 大阪府豊能郡能勢町平通101-453
 tel/fax:072-737-9454
 mail: olivenokai_zeytun@yahoo.co.jp
 facebook:oribunokai



イスラエルは、パレスチナのNGO5団体をテロ組織とした。そのなかには、私たちが連携してきたUAWCも含まれている。テロ組織として規定した理由に挙げているのは、パレスチナ解放人民戦線と関係があるとしている。

イスラエル政府は、人民戦線をテロ組織として規定して、前書記長の暗殺などのテロ攻撃をイスラエルは加えてきた。UAWCは、パレスチナの農業NGOであり、食料主権の確立のために活動している、アダメア (addameer) は、獄中者の人権のために稼働している人権団体である。アルーハク (AL-HAQ) は、パレスチナの人権NGOであり、ピサン・センターは、研究と開発のためのNGO、NPO市民社会団体であり、DCI=P国際児童防衛団体のパレスチナ支部である。UPWCは、女性委員会連合である。彼らの活動は、占領によって、人々の権利が侵されていることに対して市民を防衛する団体であり、それぞれ国際的なつながりを持っている。

シオニストイスラエルは、今年に入って、オランダ政府にUAWCへの支援を行わないことを要求した。その時も、UAWCは、テロ組織と関連しているということであった。これは、シオニストがいかにも、パレスチナのNGOを恐れているかを示すものである。他の団体に先んじて、UAWCは、占領軍によって事務所の閉鎖などが行われている。

を反ユダヤ主義と演壇で破ったことも、同様に、自らの人種主義的、アパルトヘイト的な行為を非難されると反ユダヤ主義と反発し、パレスチナ人に対する人種主義的、アパルトヘイト的な行為を防衛している。



イスラエルが、恐れているのは、こうしたイスラエルへの国際的な広がり、イスラエルが孤立されることである。

言い換えれば、これらのパレスチナのNGOの影響力が、イスラエルを追い詰めているかを示すものである。NGOをテロ組織として規定することで、パレスチナのNGOへの国際的支援を断ち切ろうとするものである。

我々は、こうしたイスラエルの行為を非難し、よりパレスチナのNGOへの支援を強めなければならない。

UAWCは、6つのパレスチナNGOのイスラエルによる指定を拒否および非難します

2021年10月26日

2021年10月19日、「イスラエル国防大臣ガンツ」は6つの主要なパレスチナ NGO を指名しました。テロ組織として：UAWC、Addameer、Al-Haq、Bisan Center、DCI-Palestine、UPWC を指定した。

指定された NGO は、パレスチナの市民社会の中心にあります。彼らはイスラエルの占領と入植地にくるしめられている数千のパレスチナ人家族に不可欠なものを提供します。加えて、基本的権利とイスラエルの基本的人権の侵害と国際法違反についてのイスラエルの説明責任を促進することです。

6つの NGO を指定するというイスラエルの決定は、パレスチナ人市民社会全体に対する宣戦布告に相当します。そして、人権の価値観と原則に対する重大な違反です。

この決定は、そのような作業のためのスペースを縮小するだけでなく、パレスチナ人の権利の推進と保護での決定的な役割をもつパレスチナの市民社会のバックボーンを壊すために試みです

UAWC は、UAWC と他の NGO に向けられた政治的に動機付けられたイスラエルの根拠のない主張を拒否し、非難します。その主張を立証するための「証拠」を発表することイスラエル政府が拒否していると言っています

UAWC は、主にイスラエルの違法な入植地がある占領下ヨルダン川西岸の数千のパレスチナ人の農民とその家族の支援をしている。私たちの重要な仕事は、エリアCでパレスチナ人の存在を強化することであり、それが多年にわたって、私たちが攻撃された理由です。イスラエルの最近の指定は、これらの攻撃の集大成です。

指定が発表されて以来、数え切れないほどの応援メッセージをいただきました。私たち UAWC との連帯のこれらの表現に最も感謝し、パレスチナおよび海外の政府および市民社会のパートナーとの関係が継続することを楽しみにしています

私たちは、国際社会、特にヨーロッパにおいて、すべての指定を拒否し、それらを取り消すためにイスラエルに効果的な圧力を動員することをよびかけます。道徳的な考慮事項は別として、そのような圧力は、人権と持続可能なことにコミットするすべての人の利益と2国家に基づくイスラエルとパレスチナの紛争の持続的な解決役立ちます

加えて、また、国際社会に対し、指定された NGO の理事会メンバーと従業員および UAWC を含むこれらの NGO を防衛する具体的な政策をとることを呼びかけます。

農業労働委員会連合 (UAWC) は、宗教的、政治的、宗派的な所属を持たない独立した地元のパレスチナ市民団体です。平等と正義は人権と国際法に導かれる私たちの仕事の価値観の基本です

ポジションペーパー：危険な指定、イスラエルの権威主義によるパレスチナ市民社会の解体、人権への攻撃と法の支配

2021年10月30日

2021年10月30日、アルハクは5つの組織とともに、ポジションペーパー「ポジションペーパー：危険な指定、イスラエルのパレスチナ市民社会の権威的解体、人権への攻撃と法の支配」を発表しました。2021年10月19日、イスラエル国防相のベニーガンツは、イスラエル国内のテロ対策法(2016)に基づき、6つの主要なパレスチナ市民社会組織(GSO)を「テロ組織」として指定し、組織を事実上非合法化し、危険にさらすと発表しました。差し迫った報復の対象となる6つの組織は、アダミア、獄中者の支援と人権協会(Addameer)、アル-ハク法律サービス(Al-Haq)、調査と開発のビサン・センター(Bisan Center for Research and Development)、国際児童防衛パレスチナ(Defense for Children International-Palestine(DCI-P))です。農業労働委員会連合(UAWC)、およびパレスチナ女性委員会連合(UPWC)。

何十年もの間、これらの組織はパレスチナの市民社会の最前線にあり、パレスチナの声を表す努力において、人権、獄中者と子どもの権利、女性のエンパワーメント、社会経済、農業、環境開発の進歩にパレスチナと世界で大きく貢献してきました。アダミアはパレスチナの政治犯に法的支援を提供し、占領国であるイスラエルが彼らに対して犯した人権侵害を暴露している。[1]。アルハクは、法と人権のルールを保護し、人権侵害を記録し、イスラエルの戦争犯罪と人類に対する犯罪に対する説明責任を求めています。[2]。Bisan Center は、パレスチナ社会で疎外されている貧しい人々の社会経済的、政治的、市民的権利を擁護しています。[3]。DCI-P は、最も脆弱な人々への法的サービスの提供、ならびに国内および国際的な擁護を通じて、パレスチナの子供たちの権利を支援しています。[4]。UAWC は、持続可能なコミュニティベースの枠組みの中でパレスチナの農民に力を与

えることで農業開発を模索しています。[5]。UPWCは、パレスチナの女性があらゆる形態の差別のない進歩的なパレスチナ社会を構築できるようにすることを目的としたフェミニスト組織です。[6]。

イスラエルの指定は、パレスチナ人全体に対する制度化された人種差別と支配のアパルトヘイト体制を維持するためのイスラエルの戦略の一部を形成する、パレスチナ人の人権と基本的自由の擁護者に対する一連のエスカレートする攻撃と制度化された暴力の最新のものを構成します、人権擁護家を黙らせることによって。恣意的な指定は、占領下のパレスチナ領土 (OPT) で重要な人権活動に従事する最も著名なパレスチナ人 CSO と人権擁護者 (HRD) の6団体を対象とし、人権侵害の記録と監視、起訴のための説明責任作業に深刻な障害をもたらします。イスラエルの戦争犯罪と人道に対する罪、そしてイスラエルの占領、入植者植民地主義、アパルトヘイト体制を終わらせるための法的および擁護活動をおこなっています。

上記に照らして、パレスチナの6つの組織は、国際社会、国連加盟国、市民社会に次のことを推奨しています。

イスラエルに対し、意見と表現の自由、結社の自由を侵害する行為としての指定を緊急に撤回し、ローマ法第

7条(2)(h)に基づいて起訴可能なアパルトヘイト行為に相当することを求める。

銀行や金融機関に速報を発行し、イスラエルがパレスチナの6つの組織をテロリストに指定したことを適用できないものとして却下するよう通知します。

占領されたパレスチナ自治区の市民社会組織へのドナー資金提供に課せられた内部条件として、欧州連合および第三国が「テロ」条項を削除することを直接伝え、推奨する。

テロに対抗しながら人権と基本的自由の促進と保護に関する国連特別報告者であるフィオヌアラ・ニー・アオラン氏に、2016年の反テロ法と国際人権法および国際人権法との適合性を検討するよう要請する。

OPTに対するイスラエルの国内法の行き過ぎとして、OPTの市民社会組織への2016年のテロ対策法の適用を非難する。

人権擁護家の迫害を制度化し、パレスチナ人とその土地に対する植民地支配を定着させるために効果的に使用された2016年の対テロ法を廃止するようイスラエルに要請する。

パレスチナの市民社会と人権擁護家を脅迫し、沈黙させることを目的とした体系的かつ継続的な政策と慣行を直ちに中止するようイスラエルに要請する



9月24日に、アッバース大統領は、国連総会で演説を行った、直接の参加ではなく、ラマラからの参加になった。

二国家解決方式での交渉を望む自治政府と、二国家解決方式を否定し、自治政府との交渉を拒否するイスラエル政府、そして、イスラエルは、パレスチナを無視して、アラブ諸国との正常化を進めている中で、自治政府は、

孤立化させられている。

アッバース大統領の演説は、その状況からの叫びに近いものであった。67年国境に基づく二国解決方式を認めなければ、当然イスラエルの承認も意味のないものになり、また、一国での平等の権利による2民族の共存もイスラエルは、認めない以上、イスラエルの占領継続と併合、そのもとにパレスチナ人は従属させられるものにし

オリーブの会通信 第12号(通巻18号)

かならない。当然これは、国際法に反し、また人権、民族の自決という原則に反するものである。

国連でイスラエル代表が国連の人権報告書を反ユダヤ主義として、破り去ったように、イスラエルは、パレスチナ人に対する人権侵害、アパルトヘイトの実践を認めようとしていない。

しかし、国際社会は、イスラエルを国際法違反で罰することはなく、イスラエルとの関係の正常化に向かって

いる。アッバース大統領は、こうした絶望的な状況の中でも、国際社会が後押しをする政治交渉への期待を残している。しかし、パレスチナの民衆も、政治交渉は、なにも生み出さず、その間にイスラエルの実質的な占領地の併合を進められただけであったことを知っている。

そして、自らの闘いでしか、民族の解放を勝ち取ることができないことを知っている。

国連総会の演説は、パレスチナの中では評価は高いが、これはアッバース大統領がパレスチナの現実を訴えたからである。

しかし、あくまで、欧州、米国によるイスラエルへの圧力を期待しているのでは、これまでと同じことを繰り返すことになるだけである。パレスチナの世論が望んでいるように、他国の力に期待して、交渉するのではなく、パレスチナ人の主体的力に依拠しなければならない。80年代の困難な時期に、領内のパレスチナの民衆が立ち上がることで、歴史は大きく動いたし、それをオスロ合意に収れんさせたことで、その後困難がつくりだされた。歴史を情勢を変える力は、パレスチナ民衆にある。

アッバース大統領演説要旨

大統領：占領は1967年に占領されたパレスチナ領土から撤退するために1年があります

公開日：2021年9月24日（最終更新日：2021年9月25日00:06）

マフムード・アッバース大統領は、「私たちは占領当局と真実との対立に直面し、岐路に立っているようだ。もうたくさんです、状況は耐えられず、持続不可能になっている。私たちの人々はもはやこれ以上耐えることができません。」と述べた

今日、金曜日の第76回会期の国連総会での彼の演説で、大統領は、「私は平和構築のために一生闘い、平和的、法的、外交的方法に従い、国際フォーラムで働いてきた」と付け加えた。「私たちは平和のために繰り返し手を差し伸べてきましたが、イスラエルでは二国家解決を信じ

て受け入れるパートナーを見つけることができません。」

彼は、イスラエルの占領当局は、東エルサレムを含む、1967年以来占領されていたパレスチナの領土から撤退するのに1年があると述べた。これが達成されない場合、なぜイスラエルの承認は1967年の国境に基づいたままであるのか？なぜこの承認が残っているのか？

大統領は、「私たちの国民は1967年の国境に存在する土地の2倍の面積の占領の現実とその違法行為を受け入れず、自己決定権に到達するための闘いを続けるだろう」と強調した。

大統領は次のように述べた。「私たちは国際司法の最高機関として国際司法裁判所に行き、パレスチナ国の土地での占領の正当性と国連の責任について決定を下します。この点で世界の国々、そして誰もがこの点で裁判所によって発行されるものの結果に従わなければならないでしょう。植民地主義とアパルトヘイトは国際法で禁止されており、それらは立ち向かわなければならない犯罪であり、解体されなければならないシステムです」。

大統領は、「国際的な正当性に基づく二国家解決を弱体化させることは、イスラエルによる私たちの国家の占領を終わらせなかったことに照らして、そして、1948年に彼らの土地から根こそぎにされた700万人のパレスチナ難民の問題を解決できなかったことに照らして、そして、パレスチナの土地の組織的な盗難に照らして、集団的強制の手段としての占領と家屋の破壊の犯罪刑罰、殺害、女性、病人や未成年の子供を含む数千人の逮捕、ガザ地区の不当な包囲の継続、さまざまな名前で併合作戦の実施など、地上の現実によって私たち全員に課される他の選択肢への広い扉を開くだろう」と警告した。

彼は次のように述べています。「今年、パレスチナ人の半数以上が当時彼らの土地から追放され、彼らの財産が押収されたパレスチナ人ナクバから73年が経過しました。私の家族と私は、私たちの多くと同様に、この土地の所有権証書を持っています。これは国連の記録にも記録されていますが、イスラエルの法律が決議の承認を拒否しているため、土地を回復することはできませんでした。パレスチナ難民が故郷に帰国し、国際決議、特に決議194に従って、母親の損害賠償を取り戻す権利を確認する国際的正当性の証明です」。

大統領は、「現在および以前のイスラエル政府は、パレスチナ人に対する占領と軍事的支配を継続し、代替の薄っぺらな経済および安全保障プロジェクトを提案することにより、国際的な正当性に従った二国家解決に基づく政治的解決を回避したと」付け加えた。これは、努力を長引かせるため、誰にとっても真の平和のための安全と安定を達成しない一方的な計画です。占領は長続きし、人種差別主義者の一国家の現実を永続させます。

大統領は、「イスラエルの占領当局が私たちの人々、私たちの土地、そして私たちの神聖さに対して行った犯罪と攻撃的な慣行は、私たちに長い間終わりを迎える運命にある、土地に確立された植民地体制のように、彼らの土地での自由と独立を達成するための私たちの人々の闘争を止めることはない」と付け加えました。私たちは、彼らが私たちの生活を引き継いで、自由と独立のために私たちの人々の夢、希望、願望を殺すことを許しません。

彼は、「パレスチナ問題の解決に向けた国際社会と国連機関の政策が、イスラエルに責任を負わせ、国際法違反に対して制裁を課すことができなかつたため、これまでのところすべて失敗したことは残念だ」と付け加えた。それは、超民主主義国家であると主張するイスラエルを作りました。

大統領は、「私たちは私たちの人々を捨てることはできない」と強調しました。「そして私たちはすべての獄中者の解放まで働き続けます。ここに、獄中者の贈り物のための挨拶があります。占領が敗北した場合、獄中者の問題は発生しません。」

この世界の生きている良心に対処するために、大統領は尋ねました、「道徳と人間性だけを欠いている人を除いて、死体を罰し、家族がそれらを埋めることを防ぐこの宇宙の誰かがいますか？」

そして彼は言った：「私はイスラエルの指導者たちに言います、パレスチナの人々を征服して彼らを隅に置き、彼らの尊厳と彼らの土地と国家に対する彼らの権利を奪わないでください。そして私たちの人々の忍耐には限界があります。」

大統領は、「パレスチナの人々は彼らの存在とアイデンティティを擁護し、ひざまずき、降伏せず、去らず、

そして彼らの土地に留まり、それを擁護し、彼らの運命を擁護し、そして東エルサレムを首都とするパレスチナ国の土地の占領を終わらせる彼らの偉大な道を最後まで続けるであろう」と繰り返した。

彼は言った：「これは私たちの土地であり、これは私たちの聖域であり、これは私たちのパレスチナ人のアイデンティティです。未来は私たちのものであり、安全と平和はあなただけのものではなく私たちのもの、私たちは占領者がそれを去るまでそれを守ります。」

大統領は、「パレスチナ解放機構が私たちのパレスチナ人の唯一かつ合法的な代表であり、私たちが私たちの人々と私たちの土地の団結に熱心であり、私たちはすぐに総選挙と大統領選挙と国民議会に行くことを繰り返しました。私たちは、署名された協定に従ってエルサレムでの彼らの組織を確保し、選挙なしで留まることが不合理であるこの選挙政府エルサレムを組織するために占領に圧力をかけるのを助けるよう国際社会に呼びかけます。」

大統領は、「間違いを回避するための措置を講じ、法の支配、表現の自由、および人権を我が国で遵守するアプローチとして引き続き尊重するよう指示を出した」と付け加えた。

彼はまた、「私たちが平和を達成し、平和的な大衆の抵抗を強化し、私たちの地域と世界のあらゆる形態と原因でテロと戦う方法として、政治的行動と対話に取り組んでいることを国際社会に繰り返した。」



パレスチナ人の少年を拘束する占領軍



イランと対峙する千本の短剣、イスラエルの計画

2021年10月5日に投稿 | 19:25 (PFLPのホームページからの転載)

「イスラエル」はイランへの「恐怖症」コンプレックスに苦しんでいます。その指導者たちは、昼夜を問わず、イランの核プロジェクト、拡大する地域的役割、そしてアラブとパレスチナの抵抗軸の国々と権力への継続的な支援、とりわけレバノンのヒズボラに悩まされています。

ベネット首相の第76回総会での演説で、イランについて25回言及し、パレスチナ問題について一度も話さなかったことは驚くに当たらない。これは、占領に対する不安と恐れを示している。イスラエルはテヘランとその軍事的、技術的、科学的な能力と活動の発展に苦しんでいます。特にイランはイスラエルを取り巻く地域に強い軸を持っているため、その安全と存在に深刻な危険をもたらすと見ている。核開発計画については、米国の核活動を厳しく制限することなく、正確で長距離の弾道ミサイルの兵器の開発を制限することなく、また地域と地域におけるその役割と地域介入を制限することなく、イランとの核合意に戻らないように激しく戦っている。

「イスラエル」は、アメリカと西側の植民地諸国の参加なしにイランとの単一の戦争冒険に従事することはできないことをよく知っており、その空虚なおどしは、はすべて国内向けであり、社会とその内部を安心させるためである。

したがって、それはテヘランとの直接の軍事的対立をさける代替計画を探している、高い代償を支払うことになる対立をさけ、西岸でそれのための軍事インフラを構築するためにパレスチナの抵抗勢力と対峙する計画と同様の計画、それが「芝生を刈る」と呼ばれる計画で、これらの構造の検出とその幼少期と新芽の破壊に基づいて、成熟する前にそのメンバーと指導者を殺害し、逮

捕し、イスラエルの標的と軍事前哨基地に対して軍事作戦を実行する能力を失わせることである。そしてこれはジェニン地域とエルサレムでの「トンネルの自由」のプロセス後の集中的なイスラエルの軍事作戦を通じて、私たちが見ているものです。パレスチナPLO運動の多くのメンバーと幹部が殺害され、そのうち5人がジェニンとエルサレムで殉教した。かれらはオサマ・ソブ、アラ・ザユード、アーメド・ザーラン、ザカリヤ・バドワン、マハムード・フマイダンと少年ユセフ・ソブである。

イスラエルが直接対峙するのではなく、イランの安全と安定を不安定にする千本の短剣の「イスラエル」計画…。

イスラエルのメディアによって言及されたその計画は…イランを占領し、それを緊張状態にもちこみ、そして、内部的な消耗、地域の周辺諸国との戦争、イラン国内でテロ作戦を実施することにより、その安全と安定を不安定化させるために取り組んでいる。地域の周辺国との緊張と内部の摩擦と戦争の状態、おそらく、1911年の戦争後のロシア人によって占領されるまで、主にイランの領土であったアゼルバイジャンでのイスラエルの軍事的安全保障的存在はアゼルバイジャンがテヘランを攻撃するためのプラットフォームとして、非常に大規模に使用されています。イスラエルの役割は、アゼルバイジャンが地域の一部を占めていたナゴルノ・カラバフ地域をめぐってアルメニアとアゼルバイジャンの間で起こった戦争で現れました。アゼルバイジャンは石油国家であるため、アゼルバイジャンでの軍事的および安全保障上の存在は、エネルギーの分野で経済的に利益をもたらし、軍事面では、距離を近づけ、財政的および軍事的コストを削減するため、テヘランとの戦争の際に利益をもたらします。

元イランの外交官であるアミール・ムサビは、アゼルバイジャンのイスラエルとISISの過激派の存在に対して警告しました。アゼルバイジャンに1,000を超えるイ

スラエルの治安要員の存在を確認しました。また、トルコによってシリアとリビアから、その指揮下で活動しているグループから輸送された1,800人以上の「ISIS」過激派が同様に存在している。

テヘランが北部国境で集中的に行った演習は、指導者たちの前で、その旅団、エンジニアリングユニット、ヘリコプター、電子戦闘ユニットは、テヘランがその安全性と安定性を脅かすことを許さないという明確なメッセージをバクに送った。アゼルバイジャンはイスラエルによる攻撃とスパイのプラットフォームとして使用され、イランは、アルメニスタを結ぶカバン回廊を經由してヨーロッパに商品を輸送するイランのトラックドライバーへの攻撃を容認しません。彼らへの攻撃と同様に、アゼルバイジャンの領土は、ファフリザデを含むイランの核科学者に対しても多くの暗殺を実行するために、高度な技術的装置と機器を導入するためにモサドによって使用されたこと、同様にゴドス軍司令官カセム・ソレイマニの暗殺に貢献したことを我々は忘れない。そしてイスラエルは、イランとその地域の同盟国をスパイするためにイスラエルの軍事および安全保障基地として使用されるアゼルバイジャンとバーレーンとの安全と軍事関係を強化し、そのセキュリティと安定性を不安定にしま

す。その安全保障と存在、特にヒズボラとパレスチナのPLO運動の軍事的および財政的支援に直接の脅威をもたらすこの地域。イスラエルは、アゼルバイジャンを安全、軍事、経済レベルでのテヘランとの戦争における先進基地と見なしている。それは、テヘランがアジア諸国や近隣諸国と取引することによって、彼らのコンテンツの米国の経済的制裁を空にしたいと思っていることを認識しています。

イスラエルにとってのアゼルバイジャンはイランのレバノンのようなものです... イランはイスラエルのバーレーンとアゼルバイジャンの間での安全保障と軍事同盟からイランを脅かす危険を感じています、バーレーンは、占領の大臣ラピッドがイスラエル大使館を開くために1週間以内に訪れ、両者の間で12の協力協定に署名し、マナマからリダへの航空航路を開始し、彼らがイランの危険と地域と海上航行安全と安定の不安定化に立ち向かうために、彼らの間に戦略的安全保障と軍事同盟を確立する。したがって、アゼルバイジャンとの北の国境での広範な軍事演習は、その安全と安定を脅かす地域の地政学的変化を許さないことを伝えるようになりました。このメッセージは、エルドアン大統領が彼の汎テュルク主義のナショナリズムに基づくオスマン帝国確立を熱望しているトルコにも向けられています。



チュニジアでの抗議行動

2021年10月5日に投稿 | 20:23 (PFLPのホームページより転載)

この日付の数週間前に、チュニジアのカイス・サイード大統領は、議会の活動を凍結し、議員の免責を解除することを決定しました。これは、いわゆる「アラブの春」から始まったザイン・エル・アビジン・ベン・アリ政権の崩壊以来、ナフダ運動が果たす政治的役割の大幅な低下を意味しました。サイード大統領の決定に続いて、モロッコ王国での別の出来事がありました。それは、議会選挙におけるムスリム同胞団のフロント組織公正発展

党の失敗、そしてその権力の喪失でした。このように、2011年の初めからアラブの政治的行動が経験した困難な歴史的段階に幕が下がった。その間に「同胞団」グループが多くのアラブ諸国で権力を握った。

時代は、チュニジアから始まり、エジプト、リビア、シリア、モロッコ、イエメンを含むように急速に拡大した大規模な抗議運動から始まりました。そして、太陽が沈んだ時期に何が起こったのかを読むと、それは革命的なプロセスとは言えません。それはあいまいな混乱ではありません。革命的なプロセスには独自の条件、ツール、

オリーブの会通信 第12号(通巻18号)

雰囲気があり、それらはすべて「アラブの春」と恣意的に説明された運動では可能ではありませんでした。「創造的な混沌」と呼ばれることもある曖昧な混沌は、人民運動を突然減らし、地域を崩壊させることを目的としたグローバルプロジェクトと同じものに変える誤謬です。問題は、この単純化よりもはるかに深いものです。

アラブの状況は多くの危機に見舞われており、いつでも爆発する態勢が整っていました。深刻な経済危機、失業率と貧困率の上昇、そして人々の資格を満たせないことがあります。それは汚職と専制政治の侵入によって相殺されています。そのまま続けるのは論理的ではありませんでした。

この悲劇的な現実には、危機を克服し、困難なトンネルから抜け出すための実用的な解決策を見つけることを目的とした実用的なプロジェクトが提案されなかったため、希望の門がないことを伴いました。抗議運動の影響を受けた国々の意思決定者による否定の状態が優勢であり、文化的エリートの間にはこれ以上達成できないという一般的な感情があった。

アラブ世界を崩壊させるための外国のアジェンダの存在は、もはや物議を醸す問題ではありません。ハリーマン米大統領は、戦後の世界は異なり、連合国の勝利の集大成である国際連盟の代替機関であり、宗派主義、宗教的民族的少数派の抑圧された人々の利益を考慮に入れるべきと第二次世界大戦末期以来指摘されてきた。これには、彼の観点から、第一次世界大戦後に形成され、その戦利品がフランスとイギリスの間で分割された政治地図の再考が必要です。

アメリカ人による核兵器の発見、ソビエトの核クラブへの急速な参入、そして2つの主要な極の間の冷戦の勃発は、新しい現実を生み出しました。2人の巨人の間の直接の戦争について話すことはもはや不可能です。代替案は代理戦争でした。これには、アメリカ側とソビエト側の代理人がこれらの戦争を開始し管理するのに十分強力であることが必要でした。これはすでにインドシナ、中東、そして多くのアフリカ諸国で起こっており、したがって、1973年の戦争後、ヘンリー・キッシンジャーが彼の最初のゴッドファーザーで、トルーマンのプロジェクトの分割の分割は30年近く延期され実現された。

70年代の初め以来、RAND研究所などのアメリカの研

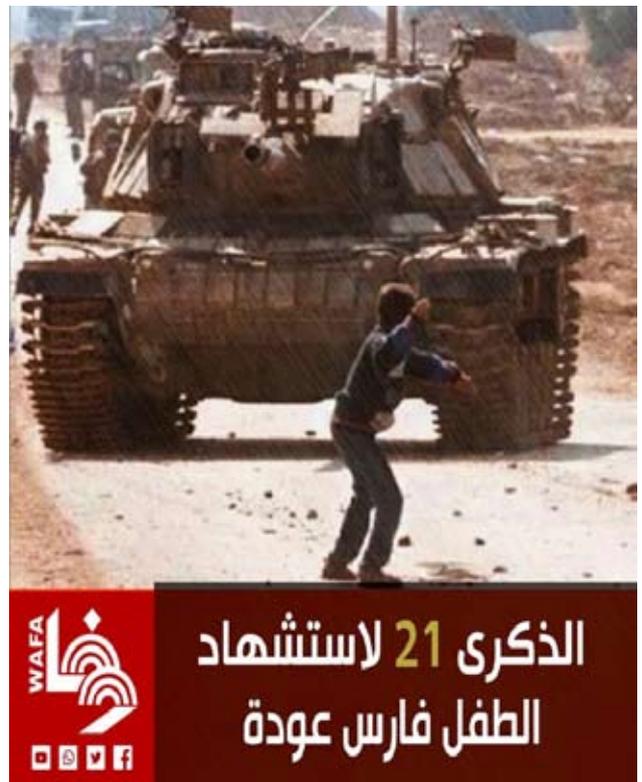
究センターによる報告が続いており、イラクは、少数民族、さまざまな宗教の信者、宗教宗派の権利を回復するプロジェクトの最初の踏み車であるとされています。

イラクは、それは、それを均質性と統一性に欠ける実体、そのモザイク性のために、選ばれました。

そして、その物語は、長くて、苦いものです。1990年のマドリード会議でのジェームズベイカー米務長官の声明から、サイクス-ピコ地図よりも劇的な新しい政治地図の作成、米国大統領のビル・クリントン政権によって課されたイラクの飛行禁止区域の緯度まで、イラクの占領へ、そして宗派と少数派の間の分裂に基づく政治的プロセスの発足、国の解体と崩壊に結果した「アラブの春」として知られるようになった後の状況に。

しかし、それだけでは、アラブの諸国の怠惰と国民国家機関の弱さがなければ、実施の実現可能性はなかっただろう。これらの実体は近代国家を確立することに失敗しました、そして、彼らの正当性は彼らの国民安全を保護することができず、市民の生活を提供できないために侵食されました。

現在の行き詰まりから抜け出すための条件は、アラブ国家が現代の基盤に依存すること、そして何よりも権威とそのすべての現れと願望における市民権の代表である国家の区別である。



第二次インテリファード21周年

パレスチナ日誌

9月1日

- エルサレム県で8月に115人の逮捕と54件の家屋の破壊があった
- アルブレイジの東で、実弾で市民3人が軽傷を負った
- 彼は13年過ごした、占領当局は編集者ジョラニをエルサレムから追放した
- ラマラで、占領軍の銃撃で青年が殉教
- 占領軍は西岸で8人の市民を逮捕した。
- エルサレムの教育事務所閉鎖する占領当局の決定。若い女性学校が急襲された
- ベツレヘムの東で、占領当局は、建設中の2件の家を破壊
- ガザのコロナ、9人死亡、1413人の新たな感染
- 占領当局は、釈放され獄中者をアルアクサから6か月追放した
- パレスチナのコロナ、8人死亡、2575人が新たに感染

9月2日

- 入植者たちは、ナブルスの南で家とその内部を破壊した。
- ラファの東デモ行進への弾圧で、3人が負傷した
- アルアクサの門で入植者による行進
- エジプト、パレスチナ、ヨルダンの首脳会議が始まった
- 占領軍によって、ガザの漁師が撃たれた
- ガザ、コロナで、5人死亡、1595人が新たに感染した。
- ハーン・ユニスの東で、青年が占領軍に撃たれた。
- 米国：我々は東エルサレムの領事館を再開することを進めている
- ガザの国境での占領軍による弾圧で負傷者
- シリアは国際機関にイスラエルに、ゴランの国民の権利を侵害することをやめさせるように呼び掛けた

9月3日

- ジャバル・サビでの衝突で20人の市民が負傷した
- アルアクサモスクの金曜礼拝に4万5千人
- コロナで、ガザでは、3人死亡、1420人の新たな感染者
- 占領軍：シリアのミサイルが北部に落下
- シリアの防空体制がダマスカス上空の敵対的ミサイルと対峙
- シリアは安全保障理事会にイスラエルの攻撃の再発を阻止する強固な対策をとることを呼びかけた
- カフル・カッダムの行進の弾圧で、青年が占領軍の銃撃で負傷し、数十人が窒息した

9月4日

- ジャバル・サビで、4170人が負傷し、救急車が標的にされた
- シリアの防空システムは、イスラエルの戦闘機から発射され21のミサイルを破壊した
- ベネットは、イランに対処するための合同チームをワシントンと作ったと発表
- パレスチナで、コロナで14人が死亡し、1585人の新たな感染者
- ガザのコロナ9人死亡と1018人の新たな感染者
- パレスチナとエジプトは、経済と貿易共同を進展させるメカニズムで合意した。
- 占領軍は、エルサレムの活動家を逮捕した。
- イスラエル報道：エジプトとカタールは、ハマスにナイト・コンヒューションをやめるように圧力をかけている
- 占領軍は、エルサレムの二人の青年を逮捕した。

9月5日

- イスラエルの大統領は、非釣りにアンマンで、ヨルダン国王と会談した
- 占領自治体の決定で、シリワンのアブハドワン一家の家を自ら解体した。
- 追放の決定と、家の解体に反対するシリワンでのスタンディング
- イスラエルの会社が地中海のガス田の株式をUAEに売却
- 占領軍は、西岸のパレスチナ人11人を逮捕
- ヘブロン北の北サイールで子供を含む7人の市民が逮捕された。
- ガザ：メッセージと殉教者の写真を運ぶ、警告風船を発射する
- 占領軍は、ラマラの北で、3人の少年を逮捕した
- ガザの東で、占領軍の銃弾で農民が負傷
- 我々は、他の選択肢を研究している。自治政府は、イスラエルが水危機の原因である。
- パレスチナでのコロナ、7人死亡、1932人の新たな感染者
- 占領当局は、アルアクサからワクフの従業員を追放した。
- シリワンで、6件の解体の脅威にさらされている近隣で、6000人の住人の家である。

- ガザのコロナ3人死亡、873人の新たな感染者

9月6日

- 占領軍は、西岸とガザを月曜日から閉鎖する
- テンプルグループが、入植者たちに、アルアクサを襲撃することを扇動
- ガンツは、援軍を送っているイスラエルは、脱獄を助けた看守たちを調べている
- ガザのコロナ10人死亡、1336人の新たな感染者
- 48年領内のタマラでの銃撃で青年が負傷した。
- 6人の獄中者の脱獄後、400人の獄中者をギルボア刑務所から移管し、ジェニンを占拠する準備をしている。
- 占領軍は、ツバスの青年を逮捕した

9月7日

- 占領軍は、ガザの抵抗勢力のターゲットを爆破した。
- ハマスとイスラム聖戦は、ギルボア刑務所の獄中者の解放を祝う大集会を組織した。
- ハマス：ガザへの爆撃は、ギルボアでの救いようもない事態をカバーするために占領軍が行った。
- ギルボア刑務所作戦：占領軍はジェニンを占拠し、6人の家族を追求している
- ユダヤ教の祝日を口実に占領軍は、イブラヒミモスクを閉鎖した。
- アルアクサに入植者が急襲し、青年が逮捕された。
- ヤツタの東で、占領軍は、二人の市民とジャーナリストを逮捕した。
- 自治政府大統領、我々は、総選挙を行うことにレディであり、言論の自由は法の枠内でなければならない
- 3人の青年がギルボア刑務所の獄中者を助けたという容疑で逮捕された。

9月8日

- ガザのコロナ、9人死亡、1604人が新たに感染
- ジェニンの衝突で、占領軍は、青年を銃撃した。
- 占領軍はジェニンを急襲し、ギルボア獄中者の家族を逮捕した。
- ネゲブとラモン刑務所での対峙、獄中者は刑務所を燃やすと脅している。
- 占領軍は、援軍を送っている。数戦以上の兵士が、獄中者の捜索に参加している。
- パレスチナのコロナ、14人が死亡、2645人が新たに感染。
- ナブルスとベイタで、獄中者と連帯して立ち上がる
- イスラエル軍は、西岸の閉鎖の延長と、ガザ国境を開けることを決定した。
- 中央ヘブロンで獄中者に連帯して、衝突が起こった。
- 占領軍は、ベツレヘムの北の入り口で平和的な行進を弾圧した。

9月9日

- ベイタとハワラ検問所で衝突で100人が負傷
- イスラム聖戦の獄中者300人を中央と南部に移送する
- 市民たちが、ヘブロンで、彼らの車を破壊しようとした入植者の企てを阻止した。
- ガザのコロナ、6人死亡、1512人の新たな感染者
- 占領軍は、3つの大隊と7つの中隊を6人の獄中者の捜索に投入
- ペイトウマールで、占領軍との衝突で、数十人が窒息した。
- デュラで、獄中者を支援する大集会が開催された
- ロシア：イスラエルの安全保障は、我々の優先事項である
- 刑務所のコミッションは、刑務官のセクションを強め、集中的な捜索を行うように命令した。
- ハマスは、金曜日を怒りの日とし、イスラエルと衝突することを呼びかけた。

9月10日

- 中央ヘブロンでの衝突で、ジャーナリストが負傷し、青年が逮捕された
- ガザのコロナ、4人死亡、1371人の新たな感染者
- 手続きと制限にも関わらず、数千審がアルアクサで夜明けの祈りをおこなった。
- ジャバルサビの近辺の道路と水のネットワークを占領軍が破壊
- 占領軍は6人の市民を逮捕、その中には、解放された獄中者の兄弟たちが含まれていた
- マリキ外相：平和の原則と二国家解決方式は、イスラエルの政治課題にない。
- アルジャマラ検問所での衝突で、占領軍によって青年が銃撃された。
- バイデンは、ベネットにエルサレムに領事館を開く計画を放棄する意図はないと通告
- エルサレムで、医者が占領軍に撃ち殺された。
- 占領軍はサールで7人の青年を逮捕した
- ペイトウマールの衝突で、ゴム被弾で、2人が負傷し、数十人が窒息
- ガンツは：逃亡した獄中者を逮捕するだろう、また、自治政府とのコンタクトは継続している。
- エルサレムの旧市で、占領軍は青年を銃撃し、門を閉鎖した。
- ジャバルサビとペイトウマールでの占領軍との衝突で、40人が負傷した。

オリブの会通信 第12号(通巻18号)

- ・カフル・カッダムの行進の弾圧で、占領軍の銃撃で3人が負傷した。
- ・パレスチナのコロナ、5人死亡、2311人の新たな感染者
- ・獄中者に連帯する諷刺入込をアルアクサで行っている時、占領軍が急襲し、2人の少年を逮捕した。
- ・入植者が、アラムの入り口近くで、3人の子供を銃撃
- ・占領軍は、脱獄した獄中者の兄弟たちを釈放した。
- ・ベツレヘムの東で、入植者たちが、オリブの苗を根こそぎにした
- ・ナブルスの衝突で174人が負傷し、救急車が標的にされた・
- ・6人の獄中者の捜索でマルジ・イブンアメルへ繰り返し乗り込んでいる。
- ・ガザ周辺の入植地にガザから一発のミサイルが発射された。
- ・エルサレム近郊での衝突と2人の青年の逮捕
- ・ヘブロンで二人の脱獄した獄中者が逮捕された後怒りが爆発

9月11日

- ・パレスチナのコロナ14人死亡、1485人の新たな感染者
- ・ガザのコロナ9人死亡、1007人の新たな感染者
- ・ジェニンで獄中者を支援する行進が行われ、ジャマラ検問所で衝突が起こった。
- ・エルサレムのいくつかの近隣で衝突が起こり、2人の青年が逮捕された
- ・占領軍は、ベツレヘムの北の入り口近くで、獄中者を支持するデモを、弾圧
- ・ハワラでの衝突で、8人の市民が占領軍の銃弾で負傷し、15人が窒息した。
- ・アルアロウブキャンプでの占領軍との衝突で、4人の青年が負傷し、逮捕された。
- ・ナブルスの南で、入植者の攻撃で市民が負傷した。
- ・ナザレ、獄中者への支持のスタンディングで、獄中者の自由の叫んだ
- ・ワシントンは、サウジからパトリオットシステムを引き上げた
- ・軍が動員され、占領刑務所当局は、ギルボア刑務所のセクションを撤退させる準備をしている。
- ・議員のアイマン・オデーは、獄中者の逃走は、パレスチナの数百万の解放にとって良いニュースである。
- ・ヘブロンで、獄中者に連帯する座り込みがおこなれた
- ・占領軍は、イブラヒムモスクの近くで、ナイフを所持していたという口実で若者を逮捕
- ・占領軍は、エルサレムの青年を逮捕した。
- ・占領軍は、ナビサレ村の主要な入り口を閉鎖
- ・ジェニンキャンプで、獄中者に連帯する行進
- ・イスラエルは、ガザからのロケットを迎撃した。

9月12日

- ・ジェニンで、占領軍は、アルークラからの二人の青年を逮捕し、数か所の家を捜索した。
- ・ジャマラ検問所で銃撃
- ・ジェニンで商業ストの呼びかけ
- ・占領軍の戦闘機が二日続けて、ガザの複数の場所を爆撃
- ・アルアロウブとサイールキャンプで占領軍の対峙で窒息者
- ・占領軍はヘブロンを青年を逮捕した。
- ・ガザのコロナ、11死亡、745人の新たな感染者
- ・占領軍は、イブラヒムモスクをモスLEMと訪問者の前で閉鎖した。
- ・ブーチンとベネットがモスクで会談
- ・シンベト：週末に、西岸とエルサレムで60件以上の攻撃があった。
- ・テオカ町の衝突で複数の負傷者
- ・獄中者ザカリヤ・アールズバイディは、病院に移送された。
- ・数十人の入植者がアルアクサを急襲し、休日の間び集中するおように訴えた。
- ・パレスチナのコロナ18人が死亡し、1501人が新たな感染者
- ・占領軍は、ガザ近くのコンクリートの壁補強した
- ・占領軍は、ガザの抵抗勢力の拠点を爆撃した。
- ・衝突と負傷、西岸での逮捕と捜査のキャンペーンが、ギルボア刑務所の獄中者の親族に影響を与えている。
- ・エルサレムの女性が、ゴム被弾弾を頭に受け負傷した。
- ・占領軍がエルサレムのマカーセド病院を急襲した
- ・アイアンドームが、ガザから発射されたロケットを迎撃した。
- ・ベネットは、イスラエル刑務所当局を強く批判した。
- ・ジェリコで、自由トンネルの獄中者たちを支持するスタンディングが行われた。
- ・シャラム・エルシェイクでシシとベネットが会談
- ・ギルボアの逃走車は、激しく打たれ、占領徳局は弁護士との面会を拒否した。
- ・ガザのコロナ、8人死亡、1437人の新たな感染者
- ・獄中者運動は、エスカレーション宣言、無期限ハンストに

9月14日

- ・パレスチナのコロナ、6人死亡、2753人の新たな感染者

- ・ガザのコロナ、死者なし、1805人の新たな感染者
- ・シャケド内相：ベネットはアブマーゼンとは会わない
- ・選挙委員会は、公式に、閣僚評議会の地方選挙を行うという決定を受け取った。
- ・武装したイスラエルのロボットが国境の侵入者を追跡している。
- ・3人の獄中者の行政勾留を延長した。
- ・アルシャティキャンプで、UNRWAと米国の合意のフレームワークを非難する大規模な集会が開催された。
- ・夫を自首させるために、占領軍はベツレヘムから妻を逮捕した。
- ・パレスチナ人は、ベツレヘムのホテルへの占領軍の攻撃を非難
- ・ヨムキブルの前夜、数百人の入植者がアルアクサを急襲
- ・6年の景気が終わった獄中者を自宅に到着したところを占領軍は再逮捕した。
- ・ヘブロンで北東の衝突で、占領軍は学生を逮捕した。
- ・ヘブロンで数十人の女子学生が窒息した

9月15日

- ・ヘブロンで、占領軍は、市民を道路で寝させた
- ・ヘブロンで均衡のじゃべ0ルの家々を入植者たちが攻撃
- ・ラマラで用明けの衝突で戦力軍は老人を逮捕した。
- ・ガザのコロナ、10人死亡、1527人ば新たな感染者
- ・ガントツ：イスラエル政府は@アレスちな仁と交渉をしない。
- ・占領当局は、サルフィットの西で、井戸の建設を止め、建設機械を募集した。
- ・ジャッファで、パレスチナ人が刺殺攻撃をしようとした容疑で逮捕された。
- ・数千のイスラエル警察がエルサレムに展開し、ガザとの警戒態勢が強められている。
- ・ワクフ：占領軍は襲撃し、イブラヒムモスクを閉鎖した。
- ・占領軍の参謀長は、二人の逃走中の獄中者を逮捕するため、大群でジェニンに入ると脅している。

9月16日

- ・占領軍は、ジャファの攻撃者の父親を尋問している。
- ・モナとムハammad・アルークルドが政界のも tt も影響のある100人に選ばれた
- ・中央選挙委員会は、地方選挙を西岸とガザでおこなうことを検討している。
- ・ヨムキブルのイブで、エルサレムの町は、孤立化し閉鎖されアルアクサは急襲された
- ・パレスチナのコロナ、15人死亡、2501人が新たな感染者
- ・イスラエルはイランと対峙するために海軍活動を激化させている。
- ・ガザのコロナ、7人死亡、1690人の新たな感染者
- ・占領軍は、サルフィットの西のパニ・ハッサンの村を急襲した。
- ・占領軍はベイトウマルで、少年を襲い、逮捕した。

9月17日

- ・占領軍は、レバノンから国境を越えた人物を逮捕した。
- ・入植者は、ナイフで青年を攻撃した。
- ・占領当局は、ジャバルサビの道を封鎖し、ブルドーザーをかけた。
- ・ガザのコロナ、15人死亡、1433人の新たな感染者
- ・ヤッタの東、アルマフカラでの行進で、逮捕者と負傷者
- ・占領軍は、ヒズボラがガリリーに侵攻するのに多事するための部隊をつくった。
- ・ベイトウマルの衝突で、ゴム被弾弾で3人が負傷し、十数人が窒息した
- ・プリンケン：ワシントンは、イスラエルとエジプト、ヨルダンの関係を強化するために働く
- ・クフル・カッダムの行進の弾圧で、占領軍の銃弾で、青年が負傷し、数十人が窒息した。
- ・ナブルスのベイトダジャンとジャバルサビでの衝突で46人が負傷
- ・西岸の反入植地集会和獄中者の支援で、衝突し、負傷者が出た。
- ・パレスチナのコロナ19人の死亡、2219人の新たな感染者
- ・ワシントンは、ヒズボラの支援のネットワークに制裁を科した
- ・ヘブロンでパブ・アルーザワイヤでの占領軍との対峙で窒息者
- ・ナブルスで占領軍との衝突で、217人が負傷
- ・占領軍は、兵士の要塞化された部屋で、火が出て、アルファワラキャンプの入り口を閉鎖した。

9月18日

- ・入植者が市民を攻撃し占領軍は2人の兄弟を逮捕
- ・差新兵器と装備—イスラエル当局者：これがジェニンの武装抵抗運動がどのようかということである。
- ・ハマスは、ジェニンキャンプに対する企てへの結果がどうようなるかと占領軍に警告
- ・パレスチナのコロナ、19人死亡、730人の新たな感染者
- ・モロッコは、イスラエルと自殺ドローンのネットワークを創設することについて

で話し合っている。

- ・ 占領軍はガザから侵入した3人の青年を逮捕した。
- ・ ガザのコロナ、14人が死亡、360人の新たな感染者
- ・ 占領当局は、エルサレム人をアルアクサから遠ざけている
- ・ レバノンのアイネヘルワキャンプで武装衝突
- ・ 占領軍は、サルフィットの西で、ブルドーザーを募集した。
- ・ ワシントン、リヤドとの50億ドルの軍事取引を批准した。
- ・ カフルカナで二つのデモ、ギルボア刑務所の前で獄中者の支援をした。

9月19日

- ・ イスラエルの軍艦が、レバノンの了解を侵犯
- ・ 占領当局は、ジェニンを急襲した後、二人の獄中者アルーカムジとアンフィアットを逮捕したと発表。
- ・ サルフィットの北西で、ブルドーザーが募集された
- ・ カラワト・パニハッサンで占領軍によって、青年が銃撃された。
- ・ パレスチナのコロナ、10人死亡、1806人の新たな感染者
- ・ ガンツは、ベツレヘムの南のキリベト・ザカリヤでのパレスチナ人に認めた建設許可のキャンセルを検討している。
- ・ イスラエルは、脱走した獄中者を再逮捕したあと、アイアンドームを警戒態勢においた
- ・ 占領当局は、獄中者ズベイディ、カドリ、アルーアドラの拘束を10日間延長した。
- ・ ガザのコロナ、8人死亡、1113人の新たな感染者
- ・ パレスチナのコロナ、10人死亡、1806人の新たな感染者

9月20日

- ・ ジャマラ刑務所の前で、6人の獄中者を支援するスタンディングが行われた。
- ・ ガザのコロナ、8人の死者と1300人新たな感染者
- ・ 占領軍の艦船がペイトラヒア沖で、漁師に発砲した。
- ・ ジェニンの南での占領軍との衝突で、窒息者
- ・ ハーンユニスで占領軍は農民たちと、羊飼いを標的にした。
- ・ パレスチナ首相ハマスにガザでの自治体選挙をお来ぬように呼び掛けた
- ・ ガザで、獄中者との連帯のデモが行われた。
- ・ パレスチナのコロナ、16人死亡、2103人の新たな感染者

9月21日

- ・ 英国の自由党は、入植地の産物を禁止し、パレスチナじんがビザなしで入国することをお認めた。
- ・ 占領軍は西岸での非常事態のレベルを上げた。
- ・ 占領当局は、ベツレヘムの東の49000ドナムを支配している。
- ・ 占領軍は、ガザの国境を越えようとした青年を逮捕した。
- ・ ガザのコロナ、14人死亡、1323人の新たな感染者

9月22日

- ・ バイデン：民主的で主権をもったパレスチナ国家を創設することが、最良の解決である
- ・ 占領軍は、イブラヒムモスクをユダヤ人の祝日を口実に閉鎖した。
- ・ ナブルスの南で、入植者たちは、ブルドーザの作業を始めた。
- ・ ガザのコロナ、7人死亡、1280人が新たな感染者
- ・ イスラエル軍は、ガザで「自爆爆撃機」を使っていることを確認した。
- ・ パレスチナのコロナ、16人死亡、1899人の新たな感染者
- ・ 入植者が王位の日2日目、アルーアクサを急襲した。
- ・ 占領軍は、王位の日のためヘブロンを閉鎖した。
- ・ 占領軍は、マサフェル・ヤッタの家族から発電機を募集した。
- ・ **9月23日**
- ・ ガザのコロナ、8人死亡、1534人の新たな感染者
- ・ アルジェリアは、モロッコのすべての航空機に空域を閉鎖した。
- ・ ヨルダンは、アルアクサでのイスラエルの侵害を即時停止するように呼び掛け
- ・ ベネットの国連総会での演説でイラン問題に焦点を当てた。
- ・ ベツレヘムの南、アルカデルで占領軍との衝突が起こった。
- ・ パレスチナのコロナ12人の死亡と2083人の新たな感染者
- ・ スーダンは、ハマスの財産を没収し、基金を好きどころに移すのを阻止した。
- ・ 米国の下院は、イスラエルの意アイアンドームへの10億ドルを承認した。

9月24日

- ・ ヨーロッパの外交官の訪問にあわせて、入植者は、スウシヤ村の住民を攻撃した。
- ・ ガザのコロナ12人死亡と1745人の新たな感染者
- ・ 占領当局は、ギルボア刑務所の脱走で真相究明委員会をつくることを発表した。
- ・ 入植者たちは、ヤッタの東のピリン村を急襲した。
- ・ ベイタで、占領軍によって青年が撃ち殺された。
- ・ ベイタで占領軍との衝突で、29人が負傷し、そのうち一人は重傷

- ・ カフル・カッダムの行進への弾圧で、占領軍は、銃弾で4人を負傷させた。
- ・ パレスチナのコロナ、17人死亡、2231人の新たな感染者
- ・ 自治政府大統領：占領当局に67年のパレスチナの占領地からの撤退に1年間の猶予を与える。
- ・ レバノン大統領：我々は、どのような形態でのパレスチナ難民の再定住を拒否する

9月25日

- ・ ハマス：米国は、占領支持し続け、われわれの土地への安全保障は与えない。
- ・ 自治政府首相、大統領の演説は国際社会への目覚まし役割をしている。
- ・ ハマスは、スーダンにどのような投資をしていないと否定。
- ・ ヘブライ語のメディア：300人のイラクの部族指導者がイスラエルとの正常化を要求している。
- ・ パレスチナのコロナ、21人死亡、1492人の新たな感染者
- ・ ガザのコロナ8人死亡、732人の新たな感染者
- ・ ラマラの衝突で、4人の市民が逮捕された。
- ・ イスラエル人がUAEとの合意に反対している。
- ・ トルカラムの南の軍事検問所を占領軍が閉じた

9月26日

- ・ 占領軍は、ヘブロンを攻撃しそのメンバーの一人を逮捕した。
- ・ 元米国中東特使ロスが中東の人々にとって、平和が最善の選択肢である。
- ・ ロシアは、イスラエルとパレスチナの愛の大直接交渉を支持する
- ・ イラクのクルド地区の大統領は、イスラエルとの正常化の会議への立場を明らかにした。
- ・ イスラエル軍は、西岸の諸都市を急襲した際にパレスチナ人たちを暗殺した。
- ・ ブルキンでの武装衝突で士官と兵士が負傷
- ・ 今年の初めからジャーナリストに対する侵害が652件
- ・ ガザのコロナ、4人死亡、569人の新たな感染者
- ・ 人民戦線は、エルサレムとジェニンの喪に服した。ハマスも、抵抗継続を確認した。
- ・ 占領当局は、自由の戦士、ハレダ・ジャラールを釈放した。
- ・ 数百人の入植者がアルーアクサを急襲した。
- ・ パレスチナのコロナ、7人死亡、1069人の新たな感染者

9月27日

- ・ イラクの司法当局は、イスラエルとの正常化を呼びかけたイラクの指導者の逮捕を命じた。
- ・ 入植者たちがアルアクサを急襲した。
- ・ ガザのコロナ、11人死亡、1698人の新たな感染者
- ・ ナブロスで、二人の兵士が負傷した。占領軍は入植者たちをヨセフの葉から逃げさせた。
- ・ イスラエル兵が撃たれ、負傷、ヨセフの墓への入植者たちの急襲を確保するときに。
- ・ シリワンで、入植者が空に向けた発砲、学生にテロを行った。
- ・ ジャーナリストが負傷、アルビレの入り口で、占領軍と青年たちの衝突
- ・ 778人の入植者が、アルアクサを急襲
- ・ パレスチナのコロナ、21人の死亡、2200人の新たな感染者
- ・ 民族主義、イスラム勢力は、国連での大統領の演説の上に建設することの重要性を強調した。
- ・ 占領当局は、イスラエルの作戦のために準備された爆発物を発見した主張。F-35のイスラエル空軍で運用が開始された。
- ・ ベネット国連の演説でパレスチナには触れず、さらなる正常化を約束した。

9月28日

- ・ パレスチナのコロナ、17人死亡、1703人の新たな感染者
- ・ ガザのコロナ、7人死亡、1295人の新たな感染者
- ・ 逮捕と対峙—ジェニンで二人がイスラエルの弾丸で負傷
- ・ エルサレムの旧市で。少年が逮捕された
- ・ 侵入—イスラエル警察は、アルアクサモスクに礼拝者が入るのを阻止した
- ・ ダマスカス門で、3人のエルサレム人が逮捕された。
- ・ ヘブロン南での入植者の攻撃で、子供を含む9人が負傷し、一人が重症。
- ・ アルアルブ難民キャンプで占領軍の銃弾で、子供が重症

9月29日

安保理、入植地についての国連次2334の履行についてのフォローアップセッションを委細

9月30日

- ・ イランは、イスラエルにシリアへの侵略やめさせるように呼びかけ
- ・ イラク、イスラエルとの正常化会議に参加した職員を解雇
- ・ ブルキンで、占領軍の右弾で、青年が殺され、二人が負傷

- ・アルアクサ敷居でパレスチナ人が殉教
- ・大統領は地方選挙法廷を創設する布告をだした。
- ・パレスチナのコロナ、18人死亡、1461人の新たな感染者
- ・獄中者クラブ：9月に54人の市民が逮捕された。
- ・ガザのコロナ、12人が死亡、1227人の新たな感染者
- ・ブレイジ難民キャンプの東で占領軍に撃たれ殉教
- ・占領軍は、アルアクサの警備員が逮捕された。
- ・ガザ市の東へのイスラエル機甲部隊の限定的な侵攻
- ・ヘブロン北西、 Beit Ura の市民が逮捕された
- ・シュファト難民キャンプの近く、占領軍に青年が逮捕された。
- ・アルブレイジ難民キャンプの東で、イスラエルの銃弾市民が負傷
- ・入植者ちは、サルフィットの西の農民の土地の上に、木のラットフォームとベンチ建設した。
- ・占領軍はナハリーンを急襲し、家々に、催涙ガスを打ち込んだ
- ・レバノンで、イスラエルのドローンが墜落
- ・ヒズボラは、南部レバノンで、イスラエル飛行機を撃墜した責任を発表



マウティニ (Mawtini) は 1930 年代以来、英国の委任統治のパレスチナ人の非公式国歌。「Feday」国歌は公式内で使用さになるまで、この歌は残った。パレスチナ解放機構は、1972 組織の執行委員会の決定により、その後、内部のフレームワーク、パレスチナ自治政府以来の 2005 の決定により、自治政府大臣評議会は、パレスチナ人はこの国歌を使用してはならないと規定した。しかし、パレスチナ人の大部分は依然として「我が祖国」を公式の国歌と見なしています。現在、「私の故郷」は、2003 年からイラク共和国の国歌として正式に使用されています。

ファタハ運動は、その機関の名前を一般的なパレスチナ人の名前に変換するという文脈で「Feday」国歌を使用し、「Asifa」国歌に取って代わるようになりました。

パレスチナの詩人によって書かれた「Feda'i」国歌、サイド・アル・Muzayen (- エジプトのミュージシャンによって Thawra) とから構成される、アリ・イスマイルに 1965。この音楽は、1981 年にギリシャのミュージシャン、ミクス・テオドラキスによって、パレスチナの人々との連帯を表現するための象徴的な一歩として初めて編曲されました。そして、音楽の構成は、2005 にパレスチナ人フセイン Nazik の作曲による二度目の再編曲された。

Feday- パレスチナ国歌

フェダイ、フェダイ、フェダイ、ああ私の土地、ああ祖先の土地
フェダイ、フェダイ、ああ我的人々、ああ永遠の人々
私の決意、私の火、復讐の火山、私の血は私の土地と私の家を切望しています
山に登り、闘争を戦い、不可能を征服し、鎖を壊した
フェダイ、フェダイ、フェダイ、ああ私の土地、ああ祖先の土地
フェダイ、フェダイ、ああ我的人々、ああ永遠の人々
風と武器の火の決意と闘争と戦う我的人々の決意で
パレスチナは私の家であり、私の勝利の道です
フェダイ、フェダイ、フェダイ、ああ私の土地、ああ祖先の土地
フェダイ、フェダイ、ああ我的人々、ああ永遠の人々
私の土地と我的人々の旗と痛みの火の影の下で誓うために
私は戦士として生き、戦士であり続け、あなたが戻ってくるまで戦士です
フェダイ、フェダイ、フェダイ、ああ私の土地、ああ祖先の土地
フェダイ、フェダイ、ああ我的人々、ああ永遠の人々

我が祖国 (マウティニ)

我が祖国よ
栄光と美しさ、崇高さと壮麗さ
それがあなた (祖国) の丘にある
生命と解放、歓喜と希望
それがあなたの空にある
私は目にできるだろうか
あなたの安全と安寧、堅固さと名誉を
私は目にできるだろうか、気高き座に居るあなたを
星に届かんばかりに
我が祖国よ

2 番

我が祖国よ
その若さが衰えることはない、あなたが独立するか
彼らが滅びるまでは
奴隷のように敵に屈するくらいならば
我々は毒杯を仰ぐだろう
我々は欲しない
永遠の屈辱も
惨めな人生も
我々は欲しない
しかし我々は取り戻す
我々の歴史に名高い栄光を
我が祖国よ

3 番

我が祖国よ
我々の象徴は剣とペンである
戦車と言い争いではない
我々の栄光と契約
信仰を守る敬虔さ
それが我々を突き動かす
我々の栄光は
栄誉ある大義
そして先導となる規範
さあ刮目せよ

その気高き座において
敵に勝利する
我が祖国よ私の故郷、私の故郷、
栄光と美しさ、サブリティと素晴らしさ
あなたの丘にいる、あなたの丘にいる。
人生と解放、喜びと希望
あなたの空中にあり、あなたの空中にあります。
私はあなたに会いますか、私はあなたに会いますか?
安全に慰められ、勝利を収めました。
安全に慰められ、勝利を収めました。
私はあなたの卓越性であなたに会いますか?
星に手を伸ばす、星に手を伸ばす
私の故郷、私の故郷。

私の故郷、私の故郷、
若者は疲れません
彼らの目標はあなたの独立です
または彼らは死ぬ、または彼らは死ぬ。
私たちは死から飲み、敵にはなりません
奴隷のように、奴隷のように。
欲しくない、欲しくない
永遠の屈辱でも、惨めな人生でもありません。
永遠の屈辱でも、惨めな人生でもありません。
欲しくないけど持ち帰ります
私たちの名高い栄光、私たちの名高い栄光。
私の故郷、私の故郷。

私の故郷、私の故郷、
剣とペン、話も喧嘩も
私たちのシンボルです、私たちのシンボルです。
私たちの栄光と契約、そして忠実な義務
私たちを動かし、私たちを動かします。
私たちの栄光、私たちの栄光、
名誉ある大義であり、手を振っている旗です。
名誉ある大義であり、手を振っている旗です。
おお、見よ、あなたの卓越性において、
あなたの敵に勝利し、あなたの敵に勝利します。
私の故郷、私の故郷!





希望の才能

彼が希望について考えたとき、彼は疲れて退屈していると感じ、蜚語楼を作り、「私の蜚語楼をどのように評価しますか」と言いました。彼はこの質問をする前に自分の机の引き出しで自分がいた人物を探しましたが、軽率または破壊的な衝動を含むメモは見つかりませんでした。また、理由もなく雨の中に立っていたことを確認する文書も見つかりませんでした。彼が希望について考えたとき、もはや機敏ではなくなった体と知恵を獲得した心との間のギャップが広がりました。ユリの匂いと近所の人の大音量の音楽にとても腹を立てたので、彼は「私は誰ですか?」という質問を繰り返しませんでした。彼は地平線の残りの部分の窓を開け、狭い通りで2匹の猫が子犬と遊んでいるのを見て、煙突に巣を作る鳩を終わらせました。「希望は絶望の反対ではありません。おそらく、私たちを取り巻く霧を理解するために私たち自身の特別な才能に依存することを私たちに残したのは、神の無関心から湧き出る信仰です。「彼は言いました。「希望は具体的なものでも、アイデアでもありません。それは才能です。」彼は希望の問題を脇に置いてベータ遮断薬を服用しました、そしていくつかのあいまいな理由のために非常に幸せに感じました。



おいしいパレスチナ



野菜が詰められたブドウの葉 waraka ainabu

ステップ1: 材料を準備する

始めるには、2カップのご飯を量り、切り刻む必要があります。パセリ、トマト、ねぎ、ピーマンを細かく刻みます。ここではフードプロセッサーを使って簡単にできますが、ブドウの葉の詰め物は指ほどの大きさなので、細かく刻むことが重要です。したがって、すべてのフレーバーが各バイトにうまく組み込まれていることを確認する必要があります。次に準備する材料はブドウの葉です。彼らは通常、塩水が入った大きな瓶に入っています。だから、あなたは葉を沸騰したお湯に浸したいと思うでしょう。次に、水を排出し、プレートに積み重ねます。

ベジタリアンのブドウの葉を詰めたものの作成 - 大きなボウルに座っている塩水から洗い流されたブドウの葉

ステップ2: スタッフィングを混ぜる

ステップ1で難しい部分を実行しました。今度はすべての材料をボウルに入れ、塩とコショウを加えて味を整え、 $\frac{1}{4}$ カップのオリーブオイルを加えます。よくかき混ぜると、転がる準備が整います。事前にご飯を炊く必要はありません。ステップ3: ブドウの葉を詰めて転がす

ここに退屈な部分があります。そのため、これはほとんどの人が定期的に作成するレシピではありません。特別なご馳走で、休日やディナーパーティーに最適です。私がそれを作るとき、私は通常、子供たちが寝た後のためにローリングを残します。それはちょっと治療的で、60個を転がすのに約1時間かかります。私は葉の真ん中に混合物を置き、慎重に側面を折り、ラップを作るときと同じように丸めるのが好きです。

ローリングベジタリアン詰めブドウの葉 - それぞれの真ん中に米の混合物のラインが置かれた2つの開いた葉。側面にレモンを絞りました。

あなたがそれを知る前に、あなたはぶどうの葉の詰め物のプレート全体を持っているでしょう。

ベジタリアンのぶどうの葉を皿に巻いたもの

ステップ4: ぶどうの葉の詰め物を調理する

ぶどうの葉を丸めた後、大きな重い鍋の底にトマトの大きなスライスを追加します。じゃがいもや破れたぶどうの葉を使うこともできます。次に、ブドウの葉の詰め物をそれらの上に追加します。私は各層の上に塩とコショウを加え、オリーブオイルを少し振りかけ、層を繰り返すのが好きです。

ベジタリアンのぶどうの葉を丸めて深い鍋に積み上げ、上に調味料を入れ、レモンを2枚スライスします。すぐに調理できます。

短粒米2カップの場合は、鍋に沸騰したお湯5カップを加え、小皿で覆って葉を安定させます。それから、柔らかくしてジューシーで完全に食欲をそそるまで調理します！私を信じてください、彼らがまだ熱いうちに、あなたはそれらを鍋からまっすぐに食べるでしょう！

ベジタリアンのブドウの葉を丸めて深い鍋に積み上げ、上に調味料を入れ、レモンを2枚スライスします - 調理が終了した後

その結果、温かくレモンのようなブドウの葉で包まれた、完璧に調理され味付けされたご飯の小さな束ができあがります。これはあなたの努力の成果が報われるところです。そして、次に特別な機会があるときに、これらを再び作るのは簡単です。

ぶどうの葉を加える前に、必ず鍋の底に野菜を並べてください。トマトやジャガイモなどの野菜は、詰め物/詰め物が調理されている間、ブドウの葉が底で燃えるのを防ぐために使用されます。

提供する前に休む時間をとってください。この休憩時間により、ブドウの葉が落ち着くので、すぐにほぐれることはありませんが、ポットに残っている液体を吸収して風味を加えることもできます。

代わりに圧力鍋を使用してください。その場合、ブドウの葉を押さえるためのプレートは必要ありません。ぶどうの葉の詰め物を圧力鍋に詰め、水を加えて閉じ、最初の圧力鍋で15~20分間調理します。スライスしたトマトとこれらのベジタリアン詰めブドウの葉をお皿に並べて完成です。

守ろう！オリーブの木を カンパのお願い



オリーブ畑再生基金の目的

土地を守ることは抵抗闘争である。
パレスチナの農民の土地を守る闘い、
生活を守る闘いを支援します。
集まった基金は、パレスチナ農業
労働委員会連合 (UAWC) に送ります。

郵便振替

記号番号: 00960-2-303500番
名称: オリーブの会 (オリーブノカイ)

他行等から振り込む場合

店名 (店番): 〇九九店 (099)
預金種目: 当座
口座番号 0303500



11月7日豊中市での市民カフェスタに出店



イスラエルの占領政策



11月8日国際アムネスティは、西岸の幼稚園の運動場を襲った占領軍と入植者を非難した



イスラエルの裁判所の不当な和解案を拒否するシェイク・ジャラの住人

今号の内容

- シオニストによるパレスチナ NGO のテロ組織既定を非難する・・・1
- アッバース大統領の国連演説を吟味する・・・3
- イランと対峙するイスラエルの計画・・・6
- 一つの時代の終わり・・・・・・・・・・7
- パレスチナ日誌・・・・・・・・・・9
- パレスチナのふたつの国歌・・・・・・・・12
- パレスチナの詩・・・・・・・・・・14
- おいしいパレスチナ・・・・・・・・・・15
- トピック・・・・・・・・・・16



11月8日米国下院議員ラシダ・タライブさんが、イスラエルが子供を殺すことを止めさせるように訴えた



気候変動対策で共同することを話し合う世界一の金持ちのビルゲイツと極右シオニストのベネット